

引張試験機

テクノテスターAT-10

あと施工アンカー引張荷重確認試験機

取扱説明書



適合サイズ

M6 ~ M24

W1/4 ~ W1

D10 ~ D16



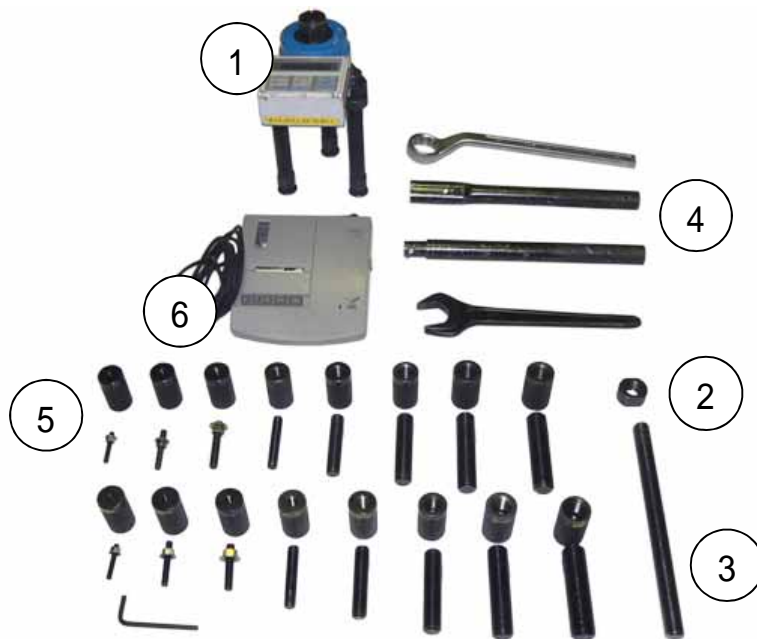
株式会社 トラスト

〒567-0029 大阪府茨木市五日市緑町5番32号
(TEL) 072-621-4164 (FAX) 072-621-4166

目 次

| | | |
|---------|-------|---------|
| 1, 各部名称 | | P-1 |
| 2, 組立手順 | | P-2 ~ 4 |
| 3, 操作手順 | | P-5 |
| 4, 注意事項 | | P-6 |

1, 各 部 名 称



AT-10 本体

調整ナット

センターシャフト

締付工具一式(メガネレンチ、スパナ、延長パイプ)

カプラ、全ねじボルト(M6 ~ M24、W1/4 ~ W1)

テクノテスター専用プリンターM255(ACアダプタ、バッテリー、充電器)

2, 組立手順



あと施工アンカーが内ネジの場合、
適合サイズのボルトをねじ込みます。

ねじ込みが不十分であると、ボルト等の
ねじ山を傷める原因となります。



適合サイズのカブラを
ねじ込みます。



センターシャフトをねじ込みます。

⚠ カブラとの隙間が無くなるまでねじ込んで下さい
ねじ込みが不十分だとボルト等のねじ山が
損傷し、ボルトや機械が飛び出して事故や
怪我を招く恐れがあります。



センターシャフトに試験機を通します。


⚠ アンカーが垂直に施工されていない場合や
躯体に凹凸がある場合等は、脚を回して
アンカーと本体が直角になるように、調節
して下さい。この際、3本の脚を均等に接地
させて下さい。



センターシャフトに調整ナットを
ねじ込み、中筒に軽く接触させます。



全体的にガタツキの無いように、
それぞれのナットで調整し固定します。
センターシャフトのナットは締めすぎない
ように注意して下さい。

 3本の脚すべてを均等に接地させてください。



戻し側

負荷側



セット時は戻し側1山残しておきます。



プリンターケーブルの接続
プリンターの接続により
試験データがプリントアウトされます。



組立完了
プリンターの「フィード」ボタンを押して
紙を少し出しておきます。

3, 操作手順



測定表示部の電源を入れ、測定値を設定します。

操作方法は別紙説明書をご参照下さい。

設定後、ゼロ調整をします。



試験開始

調整ナットを締め初期締付力を加えます。

メガネレンチで負荷ナットを回して

荷重を加えます。



注意:ボルトの先端に顔、体を向けない

設定した測定値に到達すると、

アラームが鳴ります。

測定表示部の印字を押すと

測定結果がプリントアウトされます。



検査終了後、負荷ナットを

メガネレンチでゆるめて荷重を

解除します。

4, 注 意 事 項

- 1, 説明書をよく読み理解してから、ご使用ください。
- 2, 指定用途以外には、使用しないで下さい。 損害、怪我を招く恐れがあります。
- 3, 思わぬ事故の恐れがありますので試験時は必ずすべての脚を接地させ固定してください。
- 4, 本体のねじが緩んだりして不安定な状態のまま試験を行うと、試験中にその部品が外
思わぬ事故を起こす恐れがあります。その際には速やかに修理を依頼してください。
- 5, 高所の試験や天井、壁に対する試験では、下にいる人をケガから守るために、
試験機をヒモで足場につなぐなど落下防止策を必ず講じてください。
- 6, AT - 10本体および附属品の分解や修理・改造は絶対にしないでください。
- 7, 雨等、水のかかる場所での使用は避けてください。
- 8, 測定部は精密機器ですので落としたり強い衝撃を与えたりしないでください。

『引張荷重について』

あと施工アンカー引張試験での引張荷重は、それぞれの現場、または、設計事務所に
よって多少異なる場合があります。

設定荷重値は設計事務所、または、現場監督に確認した後、引張試験を行って下さい。

本機は非破壊試験機です。母材の破壊やアンカーボルトの破断等のないよう、

加える荷重には十分注意してください。